

「北海道マリンビジョン21コンテスト2015」の選定

「北海道マリンビジョン21コンテスト」(主催:北海道マリンビジョン21促進期成会、後援:北海道開発局)の表彰対象を以下のとおり選定しました。

なお、表彰式は、平成28年7月に開催予定の北海道マリンビジョン21促進期成会総会において行う予定ですので、改めてお知らせいたします。

総合部門(北海道開発局長賞)

地域マリンビジョンの総体として、計画された取組が着実に実行され、特に他地域のモデルと
なることが期待される地域を表彰するものです。

なお、選定対象は、地域マリンビジョンのモデル地域に指定された16地域です。

- 「根室地域(歯舞地区)マリンビジョン協議会」
～最東端の海からのメッセージ～

個別取組部門(北海道マリンビジョン21促進期成会会長賞)

地域マリンビジョンの策定を通じて開始又は発展され、地域マリンビジョンの実現に貢献し、
他地域への波及と持続性が期待される取組を表彰するものです。

なお、選定対象は、地域マリンビジョンを策定している全29地域の中から、応募があった取組
内容が、前述した視点に該当した取組です。

- 「地元の海を育むチャレンジ」
(積丹地域マリンビジョン協議会)
- 「大津地域の持続的な生産体制の実現に向けて 大津漁業協同組合BCPの作成」
(大津地域マリンビジョン協議会)

総合部門（北海道開発局長賞）

「根室地域（歯舞地区）マリンビジョン協議会」

～最東端の海からのメッセージ～

【概要】

「根室地域（歯舞地区）マリンビジョン協議会」は、地域水産物のブランド化を図り、水産業はもとより地域経済や社会の活性化を目指しています。

特に、歯舞水産物ブランド化を中心テーマに位置付け、ブランド化への取組を通じた漁業振興による地域の活性化に向けて関係者が一体となって取り組み、活気のある地域づくりを目指しています。

【選定理由】

歯舞ブランド品の販売促進のため、地元のお祭りのほか、関東・関西圏でのPRを図っています。さらに、歯舞ブランドの先駆けである「はぼまい昆布しょうゆ」を使用した焼きおにぎりを大手コンビニエンスストアと連携して、期間限定販売を行いました。

また、観光遊覧船「はぼまい丸」の運航は、道内外のほか海外からも乗船客があり、乗船した愛鳥ファンや観光客から好評を得ています。

修学旅行誘致事業では、高校生が漁業者宅で民泊を行いながら、漁業体験を通じて漁業を身近に感じてもらう取組や、漁協女性部による料理講習会を開催して消費拡大を図るほか、SNSを活用した情報発信を行うなど、地域と水産業全体での取組を基礎として力強い継続力を持った活動であることが評価されました。



焼きおにぎり（大手コンビニと連携）



PR活動（東京かつぱ橋道具まつり）



観光遊覧船



料理講習会

個別取組部門（北海道マリンビジョン21促進期成会会長賞）

「地元の海を育むチャレンジ」

（積丹地域マリンビジョン協議会）

【概要】

「積丹地域マリンビジョン協議会」は、道内有数の観光地が持つポテンシャルとこれまで取り組んできた環境保全・文化伝承等の成果を踏まえ、漁港とその周辺における新たな交流拠点整備を契機として、地域産業の連携・協働により雇用の場を創出し、多くの人が集う、活力と賑わいのある地域を目指しています。

【選定理由】

自然環境を利用しながら夏期だけに依存しない通年型観光化へ向けて、自然回帰型のサケ資源増大に向けて余別新川上流への簡易魚道の設置、地元の海を育む水源の森づくりのための森林保全活動、早春のさくらますの保護水面のPR活動は、観光シーズンの延長につながり、水中展望船の運航期間延長は交流人口の増につながっています。

また、市場に流通しない規格外の小型の甘エビを使い地元菓子店と協力して開発した商品は、今年度からの本格販売により新たな積丹のお土産として好評を得るなど、地域が一体となった施策とするため、地域マリンビジョン協議会構成員のみならず、町内の各種団体等と連携して幅広く取り組んでいることが評価されました。



簡易魚道



JTの森積丹森林保全活動



どっこい積丹さくらます祭り



えびサブラー

個別取組部門（北海道マリンビジョン21促進期成会会長賞）

「大津地域の持続的な生産体制の実現に向けて 大津漁業協同組合BCPの作成」

（大津地域マリンビジョン協議会）

【概要】

「大津地域マリンビジョン協議会」は、つくり育てる漁業を継続的に取り組み、地域漁業の安定化と多様化を図り、遡河性魚類を太宗漁業とする地域として、高位安定した漁業資源とするよう、再生産環境の維持・保全に努めています。

また、次世代を支える後継者が安心して着業できる元気な浜づくりと、地震・津波の脅威に対して種々の防災・減災対策を実施し、地域の安全な暮らしの実現、継続し安定的な漁業生産活動の継続計画（BCP）を樹立しその実現を目指しています。

【選定理由】

大津地域は水産加工が発達していないことから、生産力を維持することが真の地域ブランド力の創生に繋がると考え、大規模災害発生後も漁業生産活動を継続していくため、東日本大震災の被災状況を検証し、必要となるハード施設整備を中核とした、地元が対応可能なソフト対策について検討を加えています。

BCPは大津地域マリンビジョン計画と連携、補完しあうことで、地域漁業生産の継続の実現を図るため、常に浜のニーズを把握し、できることからを前提としているほか、最悪の人的被害も想定し、残された者で対応可能となるよう、連絡先を常備し、被災時の担当者不在にも対応が図られるよう工夫を行うなど、今後も漁業地域を保全する取組が見込まれ、その発展性が評価されました。

